

# 島根県の地震

令和6（2024）年1月

・震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は暫定値です。後日、再調査のうえ修正されることがあります。

・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

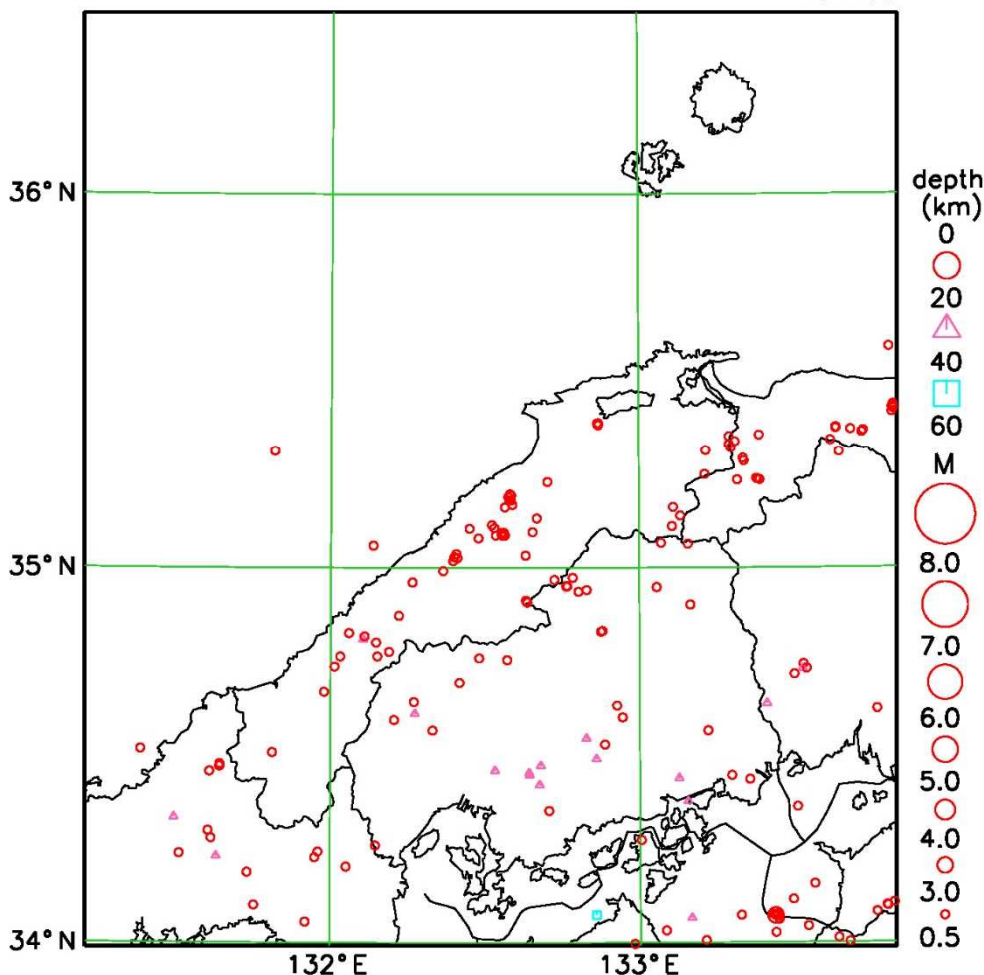
また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

松江地方気象台

## 島根県およびその周辺地域の地震活動 2024年1月1日～31日

2024 01 01 00:00 -- 2024 01 31 24:00

N=177



### [概況]

今期間、M0.5以上を観測した地震は177回（12月は149回）でした。

また、島根県内で震度1以上を観測した地震は、1回でした。

1日16時10分 石川県能登地方の地震（深さ16km、M7.6：地図範囲外）と1日16時10分 石川県能登地方の地震（深さ10km、M5.9：地図範囲外）と1日16時10分 能登半島沖の地震（深さ10km、M不明：地図範囲外）により、出雲市・隠岐の島町で震度3を観測したほか、松江市・安来市・雲南市・益田市・大田市・海士町で震度2、浜田市・江津市・奥出雲町・川本町・美郷町・知夫村で震度1を観測しました。

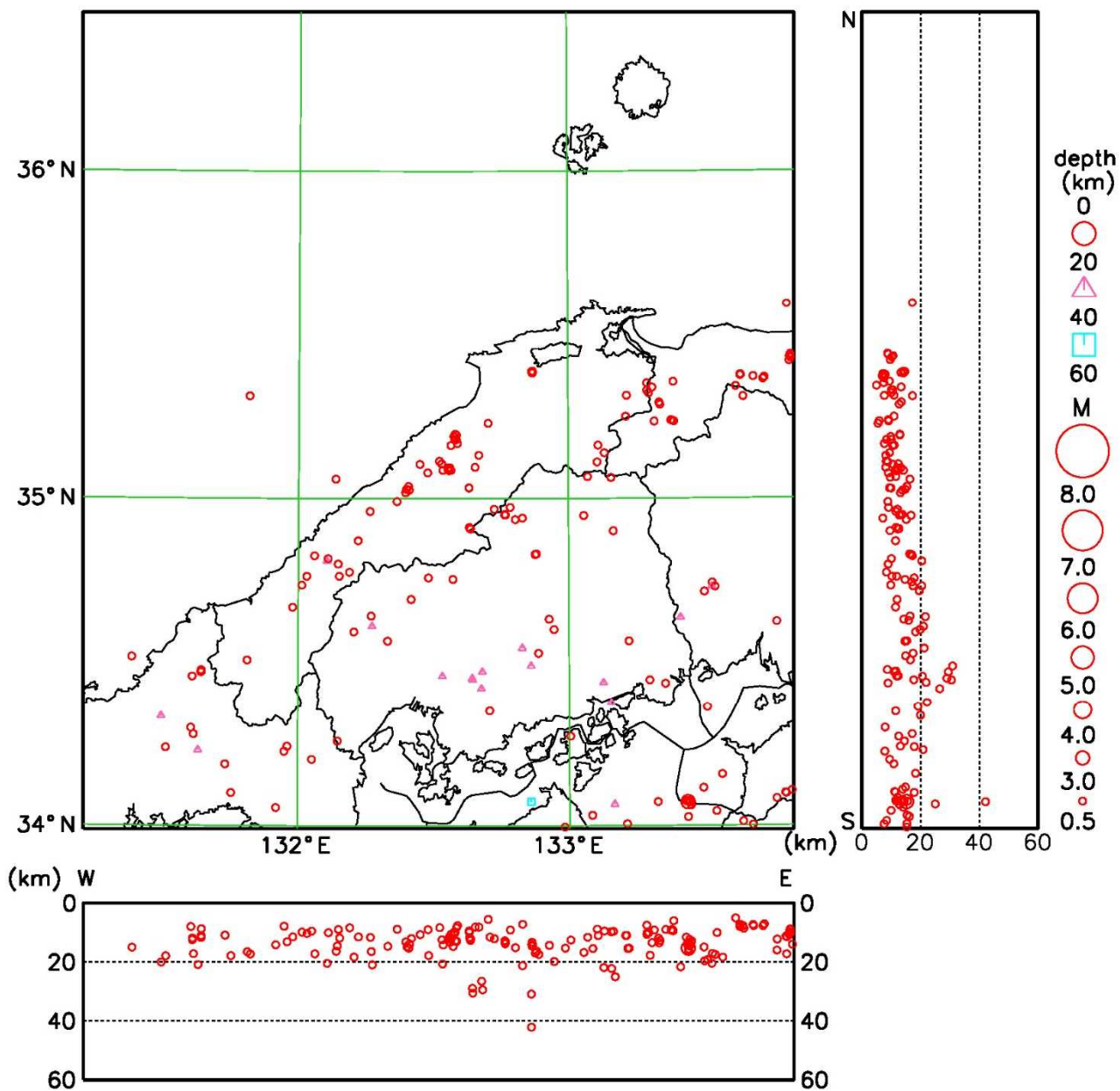
また、石川県輪島市・志賀町で震度7を観測したほか、北海道・東北・関東・東海・甲信越・北陸・近畿・中国・四国・九州地方で震度6強～1を観測しました。

この地震に伴い、日本海沿岸を中心に北海道から長崎県にかけて津波を観測し、島根県では隠岐西郷で29cm、浜田で25cmの津波を観測しました。

気象庁は、この地震の名称を「令和6年能登半島地震」と決めました。

[断面図]

2024 01 01 00:00 -- 2024 01 31 24:00



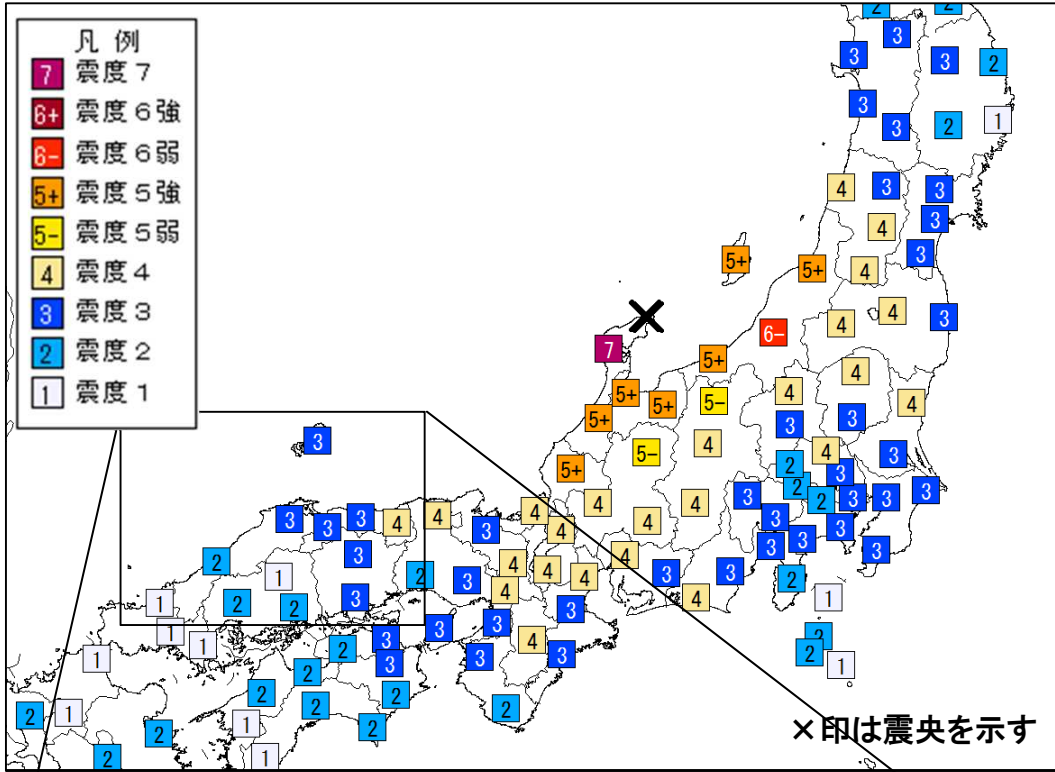
## 1月の島根県内の地震表（震度1以上）

発震日（年月日時分） 各地の震度（島根県内のみ掲載）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2024年01月01日16時10分	石川県能登地方	37° 29.7' N	137° 16.2' E	16km	M7.6
2024年01月01日16時10分	石川県能登地方	37° 30.4' N	137° 13.8' E	10km	M5.9
2024年01月01日16時10分	能登半島沖	37° 31.0' N	137° 14.4' E	10km	M---
----- 地点震度 -----					
島根県	震度 3 :	出雲市今市町, 出雲市平田町*, 隠岐の島町下西*			
	震度 2 :	松江市西津田, 松江市学園南*, 松江市鹿島町佐陀本郷*, 松江市玉湯町湯町*, 松江市八束町波入*, 松江市東出雲町揖屋*, 出雲市塩冶有原町*, 出雲市湖陵町二部*, 出雲市斐川町上庄原*, 出雲市大社町杵築南*, 安来市伯太町東母里*, 安来市安来町*, 雲南市加茂町加茂中*, 益田市常盤町*, 大田市仁摩町仁万*, 大田市大田町*, 海士町海士*, 隠岐の島町西町, 隠岐の島町山田, 隠岐の島町布施*, 隠岐の島町都万*, 隠岐の島町北方*			
	震度 1 :	松江市西生馬町, 松江市島根町加賀*, 松江市八雲町西岩坂*, 松江市宍道町宍道*, 出雲市坂浦町, 出雲市多伎町小田*, 安来市広瀬町広瀬祖父谷丁*, 雲南市大東町大東, 雲南市掛合町掛合*, 雲南市三刀屋町三刀屋*, 雲南市木次町里方*, 奥出雲町三成*, 浜田市殿町*, 江津市江津町*, 川本町川本*, 島根美郷町粕淵*, 知夫村役場*			

- ・ 地点名の後に\*がついている地点は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。
- ・ 震源が複数記載されている地震は、ほぼ同時刻に発生した地震であるため、震度の分離ができないものです。

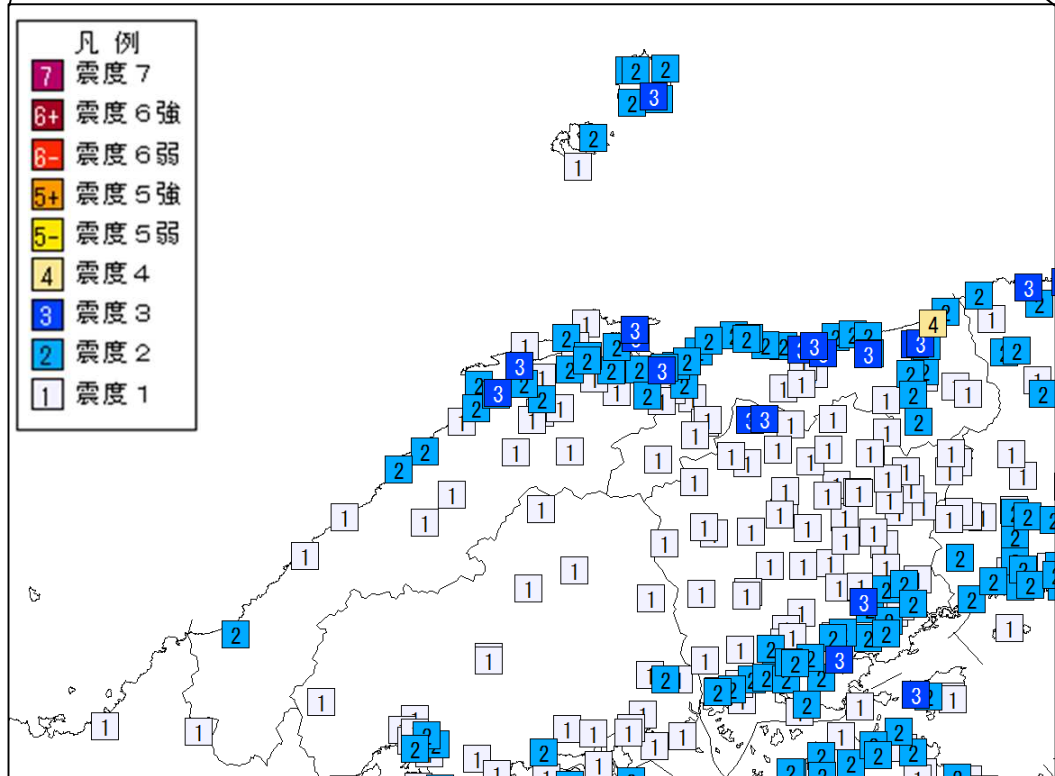
# 【地域震度分布図】

2024年1月1日16時10分 石川県能登地方  
 2024年1月1日16時10分 石川県能登地方  
 2024年1月1日16時10分 能登半島沖



# 【観測点震度分布図】

地域震度分布図枠内拡大図



# 地震一口メモ

## 日本海の津波について

令和6年1月1日16時10分頃に発生した「令和6年能登半島地震」(M7.6)では、石川県で最大震度7を観測するとともに、日本海沿岸の広い範囲に津波をもたらしました。石川県の金沢で80cm、山形県の酒田で0.8m(※巨大津波観測計による観測のため0.1m単位)の津波の最大波を観測し、中国地方でも境港市境で60cmなど、各地で津波が観測されました(下表)

表 中国地方とその周辺の津波の観測状況

都道府県	観測点名	第1波到達時刻	最大波	
		日時	日時	高さ(cm)
兵庫県	豊岡市津居山	1日17時24分	1日19時20分	35
鳥取県	岩美町田後	1日17時—	1日20時16分	20
	境港市境	1日18時16分	1日22時29分	60
島根県	浜田	1日18時33分	1日21時46分	25
	隠岐西郷	1日17時25分	1日17時50分	29

これまでも規模の大きな地震が日本海で起きると津波が発生しています。1993年北海道南西沖地震(M7.8)では大津波が発生し、最も早く津波を観測した北海道の江差港で地震発生から約7分後に第1波が到達し、その後、高さは175cm以上(測定範囲上限を超過)に達しました。中国地方をみると島根県隠岐西郷で地震発生から1時間43分後に第1波を観測し、島根県の三隅(現在の浜田市)で最大波54cmを観測しました。

また、1983年日本海中部地震(M7.7)では、津波は北海道から九州にかけての日本海沿岸を中心に観測され、地震発生から8分後に青森県の深浦で、津波の第1波を、最大波は秋田県能代港で194cmを観測しました。中国地方をみると第1波は島根県の隠岐西郷で地震発生から1時間34分後、最大波は同地点で48cmを観測しました。後日行った気象庁の現地調査では、島根県的美保関町(現在の松江市)で津波の痕跡高が3mに達するなど、島根半島や隠岐を中心に高い津波が確認されています。この地震により島根県では津波で負傷者5人のほか、床上・床下浸水431棟や船舶160隻が沈没・流失するなど甚大な被害となりました(被害は日本被害地震総覧599-2012参照)。

能登半島地震では1ヶ月が経過していますが、なおも活発な地震活動が続いています。海底で規模の大きな地震が発生した場合には津波に注意が必要です。

津波警報等を見聞きしたり、海辺で強い揺れを感じたり、長くゆっくりした揺れを感じたら、海辺から離れより高い安全な場所への避難をお願いします。津波は繰り返し襲ってきます。津波到達後も津波警報等が解除されるまで、気を緩めず避難を続けてください。津波警報等が出ている間は絶対に戻ってはいけません。携帯電話やスマートフォン、テレビやラジオ、広報車、防災行政無線などを通じて正確な情報を入手しましょう。



◇ 「令和6年能登半島地震」の観測状況等の詳細は、2月8日報道発表「令和6年1月の地震活動及び火山活動について」をご覧ください。<https://www.jma.go.jp/jma/press/2402/08a/2401kanto-chubu.pdf>